

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-93227

(P2001-93227A)

(43)公開日 平成13年4月6日(2001.4.6)

(51)Int.Cl.⁷
G 1 1 B 20/10

識別記号

F I
G 1 1 B 20/10

テマコード(参考)
H 5 D 0 4 4
G 5 D 1 1 0

19/04 5 0 1
27/031

19/04 5 0 1 H 5 J 1 0 4

// G 0 9 C 1/00 6 6 0

G 0 9 C 1/00 6 6 0 B 9 A 0 0 1
G 1 1 B 27/02 A

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L (全10頁)

(21)出願番号 特願平11-265579

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(22)出願日 平成11年9月20日(1999.9.20)

(72)発明者 田川 健二

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 岡本 隆一

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

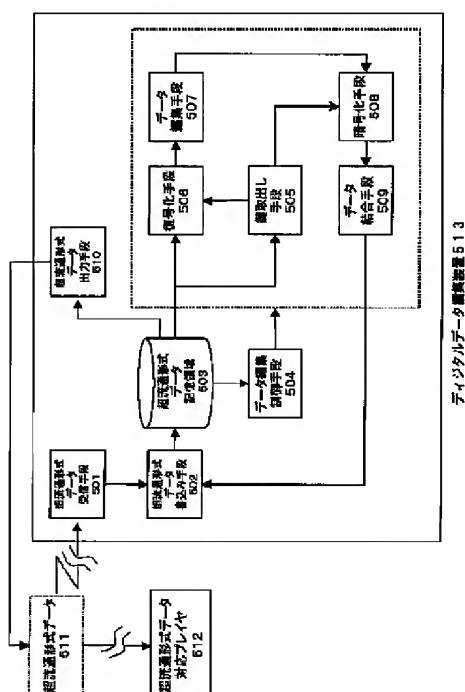
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 デジタルデータ編集装置とデータ編集方法

(57)【要約】

【課題】 超流通形式のデータに含まれるコンテンツを、著作権を保護した上で、用途に応じて編集する。

【解決手段】 暗号化手段508は、データ編集手段507が編集したコンテンツを暗号化し、データ結合手段509は暗号化したコンテンツに、暗号化の際使用した鍵と利用条件とからなる権利管理情報を付加し、超流通形式のデータを作成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ディジタルデータを編集する編集装置であって、超流通形式のデータを、外部から受信する超流通形式データ受信手段と、超流通形式のデータを記憶する超流通形式データ記憶手段と、

前記超流通形式データ記憶手段に記憶された超流通形式のデータに含まれるコンテンツを復号化するコンテンツ復号化手段と、

前記復号化手段によって復号化されたコンテンツを編集するコンテンツ編集手段と、

前記コンテンツ編集手段によって編集されたコンテンツを暗号化し、超流通形式のデータを作成する超流通形式データ作成手段とを有するディジタルデータ編集装置。

【請求項2】 ディジタルデータを編集する編集装置であって、

前記超流通形式のデータは、所定の暗号化方式で暗号化された、鍵およびコンテンツの利用にたいする利用条件と、前記鍵を用いて暗号化されたコンテンツとを含み、前記コンテンツ復号化手段は、前記鍵を用いてコンテンツを復号化し、

前記超流通形式データ作成手段は、前記鍵を用いてコンテンツを暗号化し、暗号化されたコンテンツに、前記所定の暗号化方式で暗号化された、鍵と利用条件を付加することによって超流通形式のデータを作成することを特徴とする請求項1記載のディジタルデータ編集装置。

【請求項3】 ディジタルデータを編集する編集装置であって、

前記超流通形式データは、コンテンツを構成する各々のデータについて、編集を許可するか否かを記述した編集許可フラグを含み、

前記データ編集手段は、前記編集許可フラグで編集不可と記述されたデータの編集を禁止することを特徴とする請求項1または請求項2記載のディジタルデータ編集装置。

【請求項4】 超流通形式のデータを編集する編集方法であって、

前記超流通形式のデータは、所定の暗号化方式で暗号化された、鍵およびコンテンツの利用にたいする利用条件と、前記鍵を用いて暗号化されたコンテンツとを含み、前記暗号化されたコンテンツを前記鍵を用いて復号化するステップと、

前記復号化されたコンテンツを編集するステップと、前記編集されたコンテンツを前記鍵を用いて暗号化するステップと、

前記暗号化されたコンテンツに、前記所定の暗号化形式で暗号化された、鍵と課金情報を付加し、超流通形式のデータを作成するステップとを包含する超流通形式データ編集方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、ディジタルデータ編集装置に関し、より特定的には、超流通形式のデータに含まれるコンテンツを用途に応じて編集し、編集したコンテンツを含む新たな超流通形式のデータを作成する編集装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネット上におけるコンテンツの有料配布、いわゆるEC(Electronic Commerce:電子商取引)が普及し始めており、多くの有料コンテンツが提供されている。インターネットによるECでは、一般的に情報提供者が開設したホームページに消費者がアクセスし、好みのコンテンツを検索する。好みのコンテンツがあった場合、消費者は、コンテンツをPCにダウンロードする。この際の、コンテンツの課金方法として、大きく以下の2つの方法が考えられる。

【0003】 1つ目は、ダウンロード時に課金処理を行う方法である。この場合、ダウンロードした消費者がコンテンツを買い取ることを意味する。

【0004】 2つ目は、ダウンロード自体は無償とし、コンテンツの利用(再生、および他の記録媒体への記録)時に課金を行う、いわゆる超流通による課金方法である。この場合、コンテンツを暗号化し、暗号化の際に使用した鍵とコンテンツの利用に対する利用条件を記述した情報をさらにまとめて暗号化することによって、超流通形式のデータを作成し、この超流通形式のデータをインターネットで配信することによって、ダウンロードしたデータが再配布されても課金処理が行われるような仕組みが考えられている。これにより、いったんダウンロードしたコンテンツを再配布することが可能となる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 このように配信された超流通形式のデータに含まれるコンテンツは、PCやPalm-SIZE PC(手帳サイズ程度の大きさの携帯型PC)、携帯Audio Playerなど再生能力の異なる様々な再生装置で再生されることが考えられる。しかしながら、PCでの再生を考慮されて作成されたコンテンツを、Palm-SIZE PCで再生した場合には、その再生能力では再生不可能なデータがコンテンツに含まれている可能性があり、再生できないといった場合が考えられる。例えば、PCで再生することを前提に800*600ピクセルで静止画コンテンツを作成した場合、Palm-SIZE PCで再生しようとすると、320*240ピクセルに画像の縮小表示処理を行う必要があり、この処理を実現するために装置の回路規模が大きくなってしまうことになりかねない。

【0006】 このような問題の解決方法として、あらかじめ再生装置の能力に応じた複数のデータをコンテン

の中に記録しておくことが考えられるが、この場合、配信されるデータのサイズが大きくなってしまうという問題がある。また、配信されたコンテンツに含まれるデータを復号化し、再生装置の能力に応じたデータに編集するという方法が考えられるが、単にコンテンツを復号化し編集を行うだけでは、編集後のコンテンツの不正コピーを許すことになってしまうという問題がある。

【0007】本発明は、このような問題点に則して考えられたものであって、超流通形式データに含まれるコンテンツを、コンテンツを再生しようとする再生装置の能力に応じて変換し、更に、変換したコンテンツを含む新たな超流通形式のデータを作成することが可能なデジタルデータ編集装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、本発明のデジタルデータ編集装置は、超流通形式のデータを、外部から受信する超流通形式データ受信手段と、超流通形式のデータを記憶する超流通形式データ記憶手段と、超流通形式データ記憶手段に記憶された超流通形式のデータに含まれるコンテンツを復号化するコンテンツ復号化手段と、復号化手段によって復号化されたコンテンツを編集するコンテンツ編集手段と、コンテンツ編集手段によって編集されたコンテンツを暗号化し、超流通形式のデータを作成する超流通形式データ作成手段とを有する。

【0009】

【発明の実施の形態】（実施の形態1）本発明の実施の形態1によるデジタルデータ編集装置について説明する。

【0010】まず、本実施の形態におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータの構成について説明する。図1は、本実施の形態におけるデジタルデータ編集装置が、外部から受け取る超流通形式データの構成の一例を示す図である。図1において、コンテンツ利用条件101は、コンテンツの利用にたいする条件を示すものである。鍵102は、後述するコンテンツを暗号化および復号化するための鍵が格納されている。権利管理情報103は、コンテンツ利用条件101と鍵102とから構成され、所定の暗号化方式によって暗号化されている。暗号化された権利管理情報103を復号化する際に使用する権利管理情報復号鍵は本実施の形態のデジタルデータ編集装置を動かすためのソフトウェアに格納されており、ユーザーがインストールすることで、使用可能な状態となるものであるとする。また、権利管理情報復号鍵はユーザーの通常の操作ではアクセスできない領域に記録されているものとする。以降、このようなユーザーの通常の操作ではアクセスできない領域のことをセキュア領域とよぶ。コンテンツ106は、音声データ104と複数の画像データ105から構成され、鍵102によって暗号化されている。コンテンツ再

生制御情報107は図2に示す通りコンテンツの再生を制御するための情報が記述されている。図2において、音声データ属性情報201は、音声データのCoding Mode等の音声データの属性を記述した情報であり、音声データへのオフセット202は、本超流通形式データ中の音声データの位置を示す情報である。画像データ数203は本超流通形式データに含まれる画像データ数を記述したものである。画像データ表示タイミング情報204は図3に示す通り、本超流通形式データを再生する際に、画像データを表示するタイミングを記述した情報である。図3では、例えば、画像データ#2は、音声データのタイムコードが00:00:45:10になると同時に表示が開始されることを表す。画像データ属性情報205は、図4に示す通り、画像データのデータ形式や、画像サイズを記述したものである。図4は、画像データ#1はJPEG形式のデータで画像サイズは800×600ピクセルであることを表す。画像データへのオフセット206は、本超流通形式データ中の画像データの位置を示す情報である。本実施の形態においては、上記超流通形式のデータはインターネットや外部記録媒体を通じて配信されるものとする。

【0011】図5は、本実施の形態におけるデジタルデータ編集装置の構成を示す図である。デジタルデータ編集装置は、一般にはパーソナルコンピュータで実現され、超流通形式データ受信手段501、超流通形式データ書き込み手段502、超流通形式データ記憶領域503、データ編集制御手段504、鍵取出し手段505、復号化手段506、データ編集手段507、暗号化手段508、データ結合手段509、超流通形式データ出力手段510とから構成される。

【0012】超流通形式データ受信手段501は、コンテンツ提供者からインターネットや外部記録媒体を介して超流通形式データ511を受信し、超流通形式データ書き込み手段502は超流通形式データを超流通形式データ記憶領域503に書き込む。データ編集手段504は、データの編集作業を制御する。鍵取出し手段505は、データ編集制御手段504の指示に従って、超流通形式データに含まれる権利管理情報を復号化し、鍵を取出す。復号化手段506は、データ編集制御手段504によって指示されたデータを、鍵取出し手段505によって取出された鍵を用いて復号化する。データ編集手段507は、データ編集制御手段504の指示に従って、復号化手段505によって復号化されたデータを編集する。データ暗号化手段508は、データ編集手段507によって編集されたデータを、鍵取出し手段505によって取出された鍵を用いて暗号化する。データ結合手段509は、暗号化手段508によって暗号化されたデータに、所定の形式で暗号化された権利管理情報と、コンテンツ再生制御情報とを結合し、新たな超流通形式のデータを作成する。超流通形式データ出力手段510は、

超流通形式データ記憶領域503に記憶された超流通形式データを取り出し、外部に出力する。出力された超流通形式データ511は、インターネットや、外部記録媒体を通して超流通形式データ対応プレイヤ512に渡される。

【0013】以上のように構成されたディジタルデータ編集装置について、図6、図7に示すフローチャートをもとにその動作を説明する。

【0014】まず、ディジタルデータ編集装置が外部からデータを受け取る場合の動作について図6に示すフローチャートをもとに説明する。

【0015】S601において、超流通形式データ受信手段501は、データ提供者からインターネットや外部記録媒体を介して、超流通形式データ511を受信する。S602において、超流通形式データ書き込み手段502は、S601で受信したデータを、超流通形式データ記憶領域503に書き込む。その際、ユーザーは、キーボード等の入力部（図示せず）を通して、データにたいしてコメントを入力することができる。S603において、超流通形式データ書き込み手段502は、図8に示す超流通形式データ管理情報804に、新しく書き込んだ超流通形式データに関する情報を追加する。なお、図8において、インデックス番号801は超流通データ記憶領域503に記憶されている超流通形式データごとに昇順で割り振られる番号である。すなわち図8の例では、超流通データ記憶領域503には8つの超流通形式データが記憶されていることを示している。データ格納場所情報802は、それぞれの超流通形式データが格納されている場所を示す情報である。また、データ情報803は、S702および後述するS709でユーザーが入力した各データに関する情報である。

【0016】次に、超流通形式データ記憶領域503に記憶されている超流通形式データ中のコンテンツを編集する場合の動作について図7のフローチャートを用いて説明する。S701において、データ編集制御手段504は、マウスやキーボード等の入力部（図示せず）によって入力された、ユーザーからの編集要求を受け取ると、超流通形式データ管理情報804を参照し、図9に示すような、編集データ選択画面901を表示する。編集データ選択画面901上で、ユーザーは、マウスやキーボード等を使用して編集するデータを選択する。図9の例は、データ#3を編集する場合の選択状態を示している。ユーザーによって編集するデータが選択されると、データ編集制御手段504は、選択されたデータに含まれる画像データ属性情報を参照し、図10に示すような、編集画像データ選択画面1001を表示する（S702）。編集画像データ選択画面1001上で、ユーザーは、マウスやキーボード等を使用して編集する画像データと変換後の画像サイズを選択する。図10の例は、すべての画像データの画像サイズを、 320×24

0ピクセルに変換する場合の選択状態を示している。

【0017】編集する画像データと変換後画像サイズが選択されると、S703において、鍵取出手段505は、S701でユーザーによって指定された超流通形式データに含まれる権利管理情報を、セキュア領域に記録された権利管理情報複合鍵を用いて復号化し、鍵を取出す。S704において、データ復号化手段506は、S703で取出された鍵を使用して、S702においてユーザーが指定した画像データを、復号化する。S705において、データ編集手段507は、S704で復号化した画像データの画像サイズを、S702でユーザーが指定した変換後画像サイズに従って、変換する。S706において、データ編集手段507は、超流通形式データ記憶領域503からコンテンツ再生制御情報を取出し、画像データ属性情報と、画像データへのオフセットを、S705での変換に従って書き換える。S707において、暗号化手段508は、S705で変換したデータを、S703で取出した鍵を用いて暗号化する。S708において、データ結合手段509は、超流通形式データ記憶領域503から権利管理情報を取出し、取出した権利管理情報と、S707で暗号化したデータと、S706で編集したコンテンツ再生制御情報を結合することによって、超流通形式のデータを作成する。S709において、超流通形式データ書き込み手段510は、S708で作成した超流通形式データを、超流通形式データ記憶領域503に書き込む。その際、ユーザーは、キーボード等の入力部（図示せず）を通して、データにたいしてコメントを入力することができる。S710において、データ書き込み手段502は、図8に示す超流通形式データ管理情報804に、S709で書き込んだ超流通形式データに関する情報を追加する。

【0018】以上のように編集された超流通形式データは、超流通形式データ出力手段510によって、外部に出力され、インターネットや外部記録媒体を通して、超流通形式データ対応プレイヤ512に渡される。超流通形式データ対応プレイヤ512においては、権利管理情報に含まれるコンテンツの利用にたいする利用条件を満たすと、コンテンツの再生が行われる。

【0019】なお、本実施の形態では、データの配信はインターネットや外部記録媒体を介して行われるものとしたが、衛星放送やCATVなどを通して行われてもよい。

【0020】また、本実施の形態では、ディジタルデータ編集装置は、コンテンツに含まれる画像データの画像サイズを変換するとして説明を行ったが、画像データのデータ形式や、音声データのCoding Modeなどを変換することも可能である。

【0021】以上で、本発明の実施の形態1についての説明を終わる。

【0022】（実施の形態2）本発明の実施の形態2に

よるデジタルデータ編集装置について説明する。

【0023】まず、実施の形態2におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータの構成について説明する。実施の形態2におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータは、実施の形態1におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータとほぼ同一であるため、ここでは実施の形態1との違いのみ明記する。実施の形態2におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータの構成は、図1に示した、実施の形態1におけるデジタルデータ編集装置が取り扱うデジタルデータと同じ構成であり、実施の形態1で説明を行ったデジタルデータと異なる点は、図11に示す通り、コンテンツ再生制御情報107に、画像データの編集を許可するか否かを記述した画像データ編集許可フラグ1101が含まれている点である。

【0024】図12は、実施の形態2によるデジタルデータ編集装置の構成を示した図である。本発明の実施の形態2によるデジタルデータ編集装置は、実施の形態1によるデジタルデータ編集装置とほぼ同一の構成を取るため、ここでは実施の形態1との違いのみ明記することとし、同一の構成要素に関しては同一の符号を附加して説明する。

【0025】実施の形態2によるデジタルデータ編集装置は、超流通形式データ受信手段501、超流通形式データ記憶領域502、超流通形式データ書き込み手段503、データ編集制御手段504、かぎ取出し手段505、復号化手段506、データ編集手段507、暗号化手段508、データ結合手段509と、超流通形式データ出力手段510、画像データ編集許可フラグ判定手段1201から構成される。実施の形態1におけるデジタルデータ編集装置と異なる点は、画像データ編集許可フラグ1101を読み取り、画像データが編集可能か否かを判定する画像データ編集許可フラグ判定手段1200を備えている点である。

【0026】以上のように構成されたデジタルデータ編集装置が、超流通形式データ記憶領域503に記憶されている超流通形式データ中のコンテンツを編集する場合の動作について、図13に示すフローチャートをもとに説明する。なお、デジタルデータ編集装置が外部からデータを受け取る場合の動作については実施の形態1と同様の動作であるため、ここでは説明を行わない。S1301において、データ編集制御手段504は、マウスやキーボード等の入力部(図示せず)によって入力された、ユーザーからの編集要求を受け取ると、超流通形式データ管理情報804を参照し、編集データ選択画面上901を表示する。編集データ選択画面上901で、ユーザーは、マウスやキーボード等を使用して編集するデータを選択する。図9の例は、データ#3を編集する場合の選択状態を示している。ユーザーによって編集する

データが選択されると、S1302において、画像データ編集許可フラグ判定手段1201は、ユーザーが選択したデータに含まれる画像データ編集許可フラグを読み取り、画像データが編集許可かどうかを判定し、S1303において、データ編集制御手段504は、選択されたデータに含まれる画像データ属性情報を参照し、図14に示すような、編集画像データ選択画面1402を表示する。編集画像データ選択画面1402上で、ユーザーは、マウスやキーボード等を使用して編集する画像データと変換後の画像サイズを選択する。なお、図14において、編集不可情報1401は、S1302で編集不可と判定された画像データに対して表示され、ユーザーはこの情報が表示された画像データを、編集対象として選択することはできない。編集する画像データと変換後画像サイズが選択されると、S1304において、鍵取出し手段505は、S1301でユーザーによって指定された超流通形式データに含まれる権利管理情報を、セキュア領域に記録された権利管理情報複合鍵を用いて復号化し、鍵を取出す。S1305において、データ復号化手段506は、S1304で取出された鍵を使用して、S1303においてユーザーが指定した画像データを、復号化する。S1306において、データ編集手段507は、S1305で復号化した画像データの画像サイズを、S1303でユーザーが指定した変換後画像サイズに従って、変換する。S1307において、データ編集手段1308は、超流通形式データ記憶領域503からコンテンツ再生制御情報を取出し、画像データ属性情報と、画像データへのオフセットを、S1306での変換に従って書き換える。S1308において、暗号化手段508は、S1306で変換したデータを、S1304で取出した鍵を用いて暗号化する。S1309において、データ結合手段509は、超流通形式データ記憶領域503から権利管理情報を取出し、取出した権利管理情報と、S1308で暗号化したデータとS1307で編集したコンテンツ再生制御情報を結合することによって、超流通形式のデータを作成する。S1310において、超流通形式データ書き込み手段510は、S1309で作成した超流通形式データを、超流通形式データ記憶領域503に書き込む。その際、ユーザーは、キーボード等の入力部(図示せず)を通して、データにたいしてコメントを入力することができる。S1311において、データ書き込み手段502は、図8に示す超流通形式データ管理情報804に、S1310で書き込んだ超流通形式データに関する情報を追加する。

【0027】以上のように編集された超流通形式データは、超流通形式データ出力手段510によって、外部に出力され、インターネットや外部記録媒体を通して、超流通形式データ対応プレイヤ512に渡される。超流通形式データ対応プレイヤ512においては、権利管理情報に含まれるコンテンツ利用条件を満たすと、コンテン

ツの再生が行われる。

【0028】なお、本実施の形態では、データの配信はインターネットや外部記録媒体を介して行われるものとしたが、衛星放送やCATVなどを通して行われてもよい。

【0029】また、本実施の形態では、ディジタルデータ編集装置は、コンテンツに含まれる画像データの画像サイズを変換するとして説明を行ったが、画像データのデータ形式や、音声データのCoding Modeなどを変換することも可能である。

【0030】以上で、本発明の実施の形態2についての説明を終わる。

【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本実施の形態のディジタルデータ編集装置によれば、超流通形式データに含まれるデータを用途に応じて編集することができ、更に、編集したデータは、新たな超流通形式のデータとして保存されるため、その著作権も保護することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1および実施の形態2におけるディジタルデータ編集装置が取り扱う超流通形式データの構成を示す図

【図2】コンテンツ再生制御情報の構成を示す図

【図3】画像データ表示タイミング情報の一例を示す図

【図4】画像データ属性情報の一例を示す図

【図5】本発明の実施の形態1におけるディジタルデータ編集装置の構成を示す図

【図6】本発明の実施の形態1におけるディジタルデータ編集装置が、外部から超流通形式のデータを受信する際の動作を示すフローチャート

【図7】本発明の実施の形態1におけるディジタルデータ編集装置が、超流通形式のデータを編集する際の動作を示すフローチャート

【図8】本発明の実施の形態1および実施の形態2における超流通形式データ管理情報の一例を示す図

【図9】本発明の実施の形態1および実施の形態2における編集データ選択画面を示す図

【図10】本発明の実施の形態1における編集画像データ選択画面を示す図

【図11】本発明の実施の形態2におけるコンテンツ再生制御情報の構成を示す図

【図12】本発明の実施の形態2におけるディジタルデ

ータ編集装置の構成を示す図

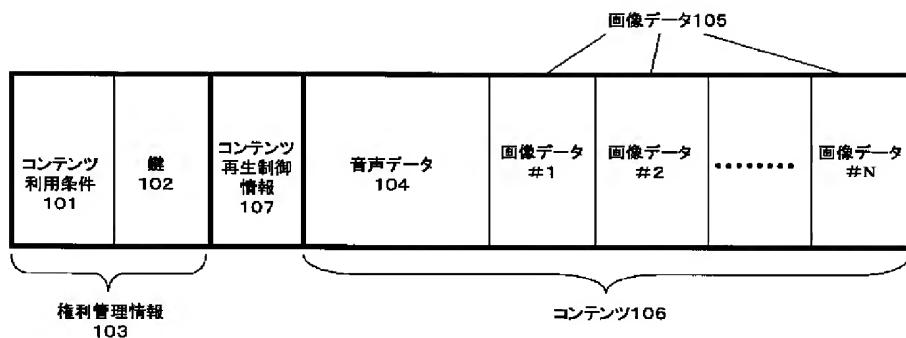
【図13】本発明の実施の形態2におけるディジタルデータ編集装置が、超流通形式のデータを編集する際の動作を示すフローチャート

【図14】本発明の実施の形態2における編集画像データ選択画面を示す図

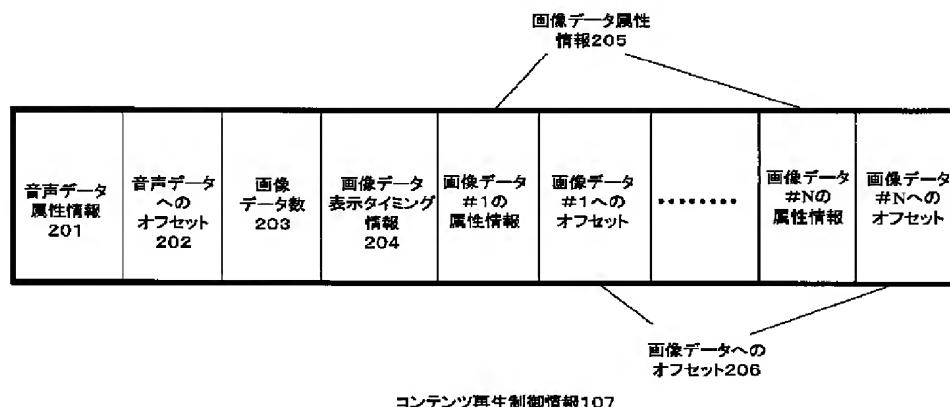
【符号の説明】

- 10 1 コンテンツ利用条件
- 10 2 鍵
- 10 3 権利管理情報
- 10 4 音声データ
- 10 5 画像データ
- 10 6 コンテンツ
- 10 7 コンテンツ再生制御情報
- 20 1 音声データ属性情報
- 20 2 音声データへのオフセット
- 20 3 画像データ数
- 20 4 画像データ表示タイミング情報
- 20 5 画像データ属性情報
- 20 6 画像データへのオフセット
- 50 1 超流通形式データ受信手段
- 50 2 超流通形式データ書き込み手段
- 50 3 超流通形式データ記憶領域
- 50 4 データ編集制御手段
- 50 5 鍵取出手段
- 50 6 復号化手段
- 50 7 データ編集手段
- 50 8 暗号化手段
- 50 9 データ結合手段
- 30 51 0 超流通形式データ出力手段
- 51 1 超流通形式データ
- 51 2 超流通形式データ対応プレイヤ
- 51 3 ディジタルデータ
- 80 1 インデックス番号
- 80 2 データ格納場所情報
- 80 3 データ情報編集装置
- 90 1 編集データ選択画面
- 100 1 編集画像データ選択画面
- 110 1 画像データ編集許可フラグ
- 40 120 1 編集許可フラグ判定手段
- 120 2 ディジタルデータ編集装置
- 140 1 編集不可情報
- 140 2 編集画像データ選択画面

【図1】



【図2】



【図3】

画像データ	表示タイミング
画像データ#1	00:00:00:00
画像データ#2	00:00:45:10
⋮	⋮
画像データ#N	00:03:55:06

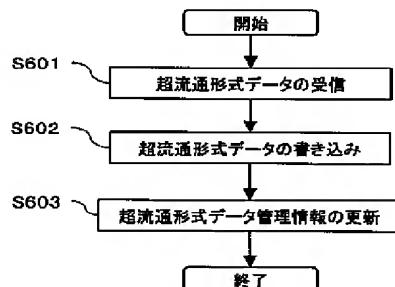
画像データ表示タイミング情報204

【図4】

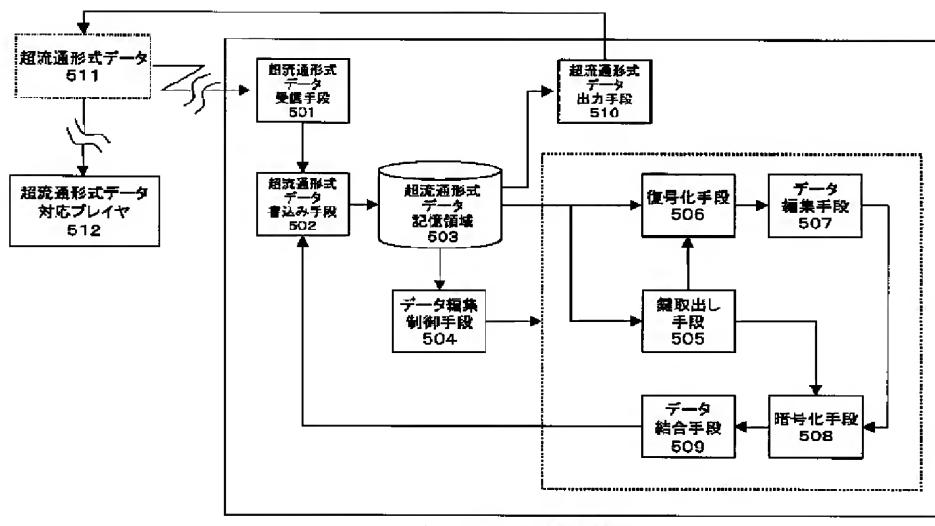
画像データ	データ形式	画像サイズ
画像データ#1	JPEG	800x600

画像データ属性情報205

【図6】

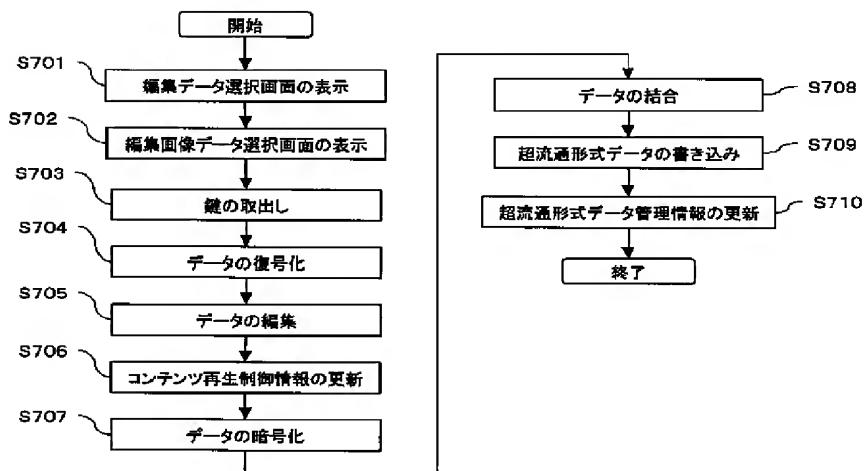


【図5】



デジタルデータ編集装置513

【図7】



【図8】

インデックス番号	データ格納場所情報	データ情報
データ#1	C:AudioData\Song1	Song1 Original
データ#2	C:AudioData\Song2	Song2 Original
データ#3	C:AudioData\Song3	Song3 Original
データ#4	C:AudioData\Song4	Song1 Palm
データ#5	C:AudioData\Song5	Song4 Original
データ#6	C:AudioData\Song6	Song5 Original
データ#7	C:AudioData\Song7	Song3 携帯Player
データ#8	C:AudioData\Song8	Song6 Original

超流通形式データ管理情報804

【図9】

データ		データ情報
データ#1	Song1 Original	
データ#2	Song2 Original	
データ#3	Song3 Original	
データ#4	Song1 Palm	
データ#5	Song4 Original	

編集 キャンセル

編集データ選択画面901

画像データ	画像サイズ	変換後画像サイズ
画像データ1	800×600	800×600 (PC)
画像データ2	800×600	320×240 (Palm-Size PC)
画像データ3	800×600	96×96 (携帯 Player)
画像データ4	800×600	

変換 全て変換 キャンセル

編集画像データ選択画面1001

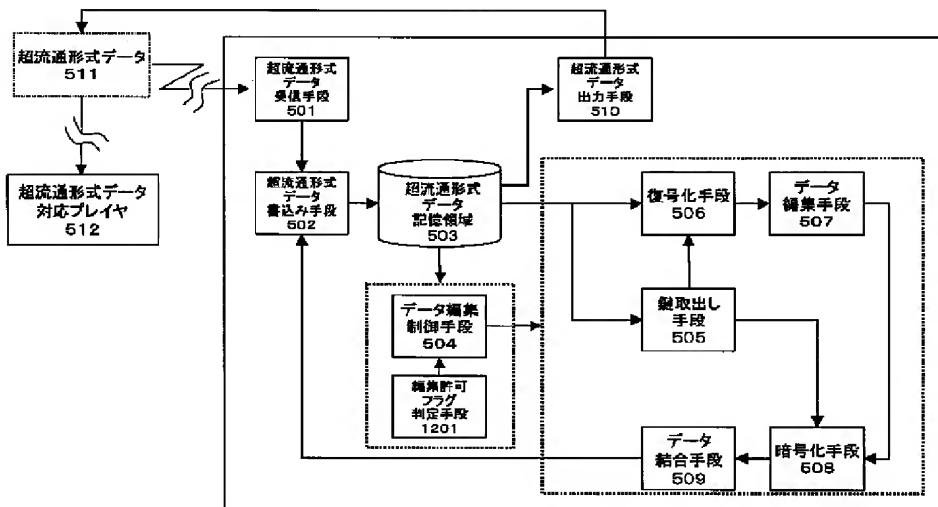
【図11】

画像データ編集許可フラグ1101

音声データ情報	音声データへのオフセット	画像データ数	画像データ表示タイミング情報	画像データ#1の属性情報	画像データ#1の編集許可フラグ	画像データ#1へのオフセット	画像データ#Nの属性情報	画像データ#Nの編集許可フラグ	画像データ#Nへのオフセット
---------	--------------	--------	----------------	--------------	-----------------	----------------	-------	--------------	-----------------	----------------

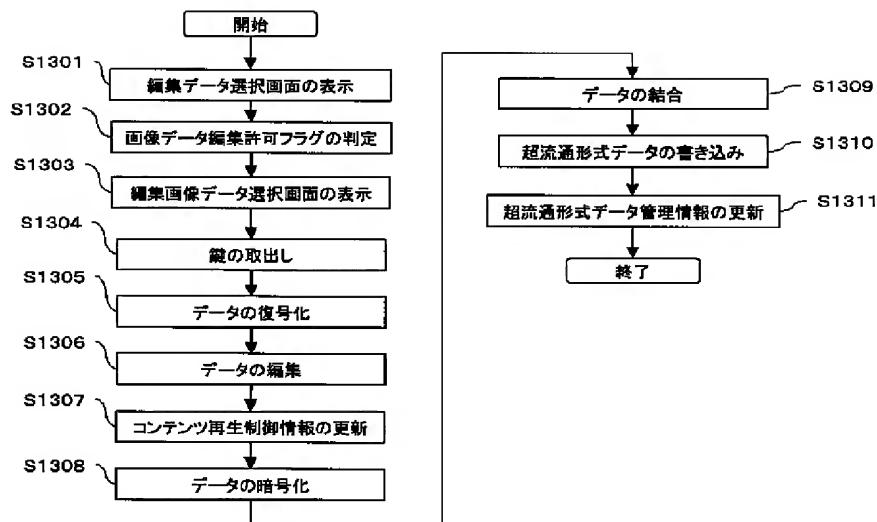
コンテンツ再生制御情報107

【図12】



ディジタルデータ編集装置1202

【図13】



【図14】

編集不可情報1401

画像データ	画像サイズ	変換後画像サイズ
× 画像データ1	800×600	800×600 (PC)
× 画像データ2	800×600	320×240 (Palm - Size PC)
画像データ3	800×600	96×96 (携帯 Player)
画像データ4	800×600	

編集画像データ選択画面1402

フロントページの続き

(72)発明者 井上 光啓 F ターム(参考) 5D044 AB01 DE60 GK17 HL04 HL08
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 HL11 HL14
産業株式会社内 5D110 CA04 CA32
(72)発明者 小塙 雅之 5J104 AA01 NA02 PA07 PA11
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 9A001 DD11 EE03 EE04 JJ19 JJ25
産業株式会社内 JJ67 KK62 LL03

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001093227 A**

(43) Date of publication of application: **06.04.01**

(51) Int. Cl

G11B 20/10
G11B 19/04
G11B 27/031
// G09C 1/00

(21) Application number: **11265579**

(22) Date of filing: **20.09.99**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(72) Inventor: **TAGAWA KENJI
OKAMOTO RYUICHI
INOUE MITSUHIRO
KOZUKA MASAYUKI**

(54) DEVICE AND METHOD FOR EDITING DIGITAL DATA

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To edit the contents incorporated in the super-distribution form data according to a use under copyright protection.

SOLUTION: A coding means 508 codes the contents edited by a data editing means 507, and a data connection means 509 adds right control information consisting of a key used in the case of coding and a using condition to the coded contents to form the super-distribution form data.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

